

○建設業界をとりまく環境の変化
(厳しい受注環境)

○担い手となる技術者の世代交代と
労働条件の悪化

○建設産業の魅力低下

目的:
適正な施工・品質の確保
⇒ 消費者(注文者)保護

目的:
優れた企業が生き残る環境整備
⇒ 不良不適格業者の排除

※視点
技術力の確保・維持向上による
確実な施工確保

※視点
適正な技術者であることを発注者
(公共・民間)や許可行政庁が確認
できる仕組みの構築

※視点
業界の経営環境の変化に対応した
運用

■技術者の要件

- 監理技術者・主任技術者の果たす役割と資格等のあり方
- 技術者の資質・技術力の維持向上のあり方
 - ・監理技術者講習に代わる方策

- 要件(資格等)の表示や確認のあり方
 - ・監理技術者資格者証の交付に代わる方策

■不正防止対策

- 技術者個人への罰則のあり方

■工事現場との関係

- 現場専任制

■企業との関係

- 雇用関係

■技術分野との関係

- 新たな分野への対応
(新たな市場・国民へのわかりやすさ)

■国際化との関係

- 建設産業の海外展開のための技術者の活動支援

技術者制度検討会 検討項目(案)

■技術者の要件

- 監理技術者・主任技術者の役割と資格等のあり方
- 技術者の資質・技術力の維持向上のあり方

- 監理技術者・主任技術者における補助者の設置の必要性
- 継続教育(CPD)の取り組みを活用した資質・技術力の維持向上方策
 - ・技術者へのインセンティブのあり方
 - ・分野に応じた体制等の整備のあり方

- 要件(資格等)の表示や確認のあり方

- 技術者に関するデータベースの整備
 - ・データベースの対象となる技術者の範囲(元請・下請の主任技術者の取扱い)
 - ・データベースに盛り込むべき情報の検討(継続教育(CPD)等)
 - ・データの信頼性確保のための審査等の方策
 - ・個人情報の保護も踏まえた、技術情報の表示・確認のあり方
 - ・不良不適格業者の排除や技術力の維持向上を促すための更新等の要件
- 効果的な専任の確認のあり方

■不正防止対策

- 技術者個人への罰則のあり方

- 技術検定等の不正受験者に対するペナルティーの必要性(受験停止期間の導入等)
- 資格等の虚偽申請、虚偽表示に関するペナルティーの必要性

■工事現場との関係

- 現場専任制

- 技術者専任の要件の点検
 - ・請負金額(土木等2,500万円、建築5,000万円)のあり方
 - ・他の条件を考慮すべき必要性(工事の種類、工期等)
 - ・専任制運用の点検
 - ・専任の要件を緩和した場合の品質管理のあり方

■企業との関係

- 雇用関係

- 直接的雇用関係の取扱い(企業集団特例制度等)
- 継続的雇用関係の取扱い(3ヶ月以上の妥当性等)
- 技術者の流動化、雇用形態の多様化等への対応の必要性

■技術分野との関係

- 新たな分野への対応(新たな市場、国民へのわかりやすさ)

- 28業種区分の点検

■国際化との関係

- 建設産業の海外展開のための技術者の活動支援

- 資格や経歴等を証明する方策(データベースの活用等)